

この度はPIVOT SML-Zをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読み下さい。

セット内容

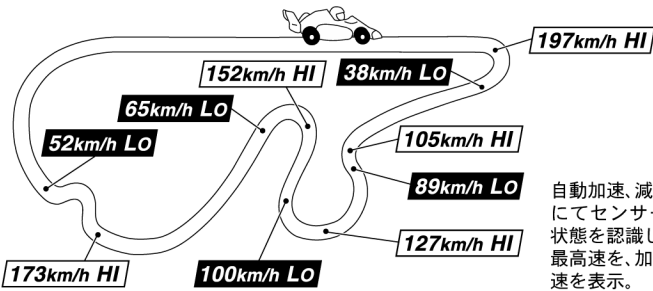
| | | | | | |
|----|-------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| | | | | | |
| 本体 | 両面テープ | カットギボシ ×3 | オスギボシ カバー | メスギボシ カバー | ヘキサコ レンチ |

・車速信号配線一覧表 ・取扱説明書

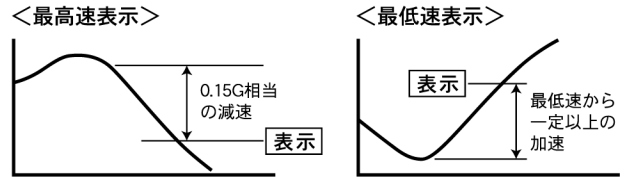
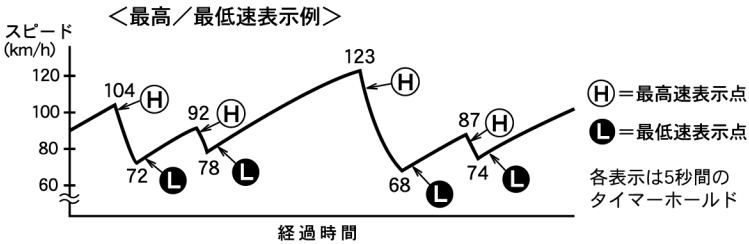
特長

●各コーナー区間ごとの最高/最低速度を表示。

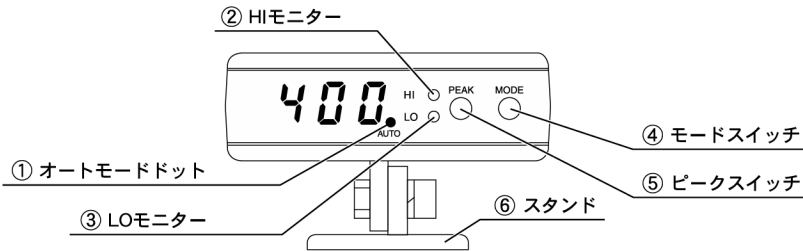
各コーナー区間ごと減速開始時にそれまでの最高速度を、その後コーナリング中の最低速度を加速開始時にそれぞれ5秒間表示し、今まで知り得なかったコーナリング手前までの最高速とコーナリング中の最低速をコーナーごとに最適にチェックできる画期的機能です。又、各表示開始を知らせる便利なアラーム音ON/OFF切換機能付き。



- 400km/h高精度スピードメーター。
- スピードリミッター解除機能付き。(一般公道での使用不可)
- 各コーナー区間ごとの最高/最低速度自動表示機能。
オートモード中は減速開始時にそれまでの最高速を、以降の最低速を加速開始時に表示していきます。
- リアル/オート各表示切り換え機能。
- 最高/最低ピークホールド機能付き。
- コンパクトで見やすい首振り構造にチタン調ケース。
- 幅広い車種に対応可能。
ほとんどの国産車に対応します。
- オープニングデモ
キースイッチONで「PIVOT SPEED PIVOT」をスクロール表示します。
- 加速/減速自動判断方式(特許出願済み)
スピードセンサー以外のセンサーへの配線取付は一切不要で車の加速減速状態を自動判断し、コーナー区間ごと最高、最低速を表示します。
 - ・減速判断=0.15G相当の減速時。
(0.15G以下のアクセルオフやブレーキング等の弱い減速には反応しません。)
 - ・加速判断=最高速表示後の最低速から一定以上の加速時。



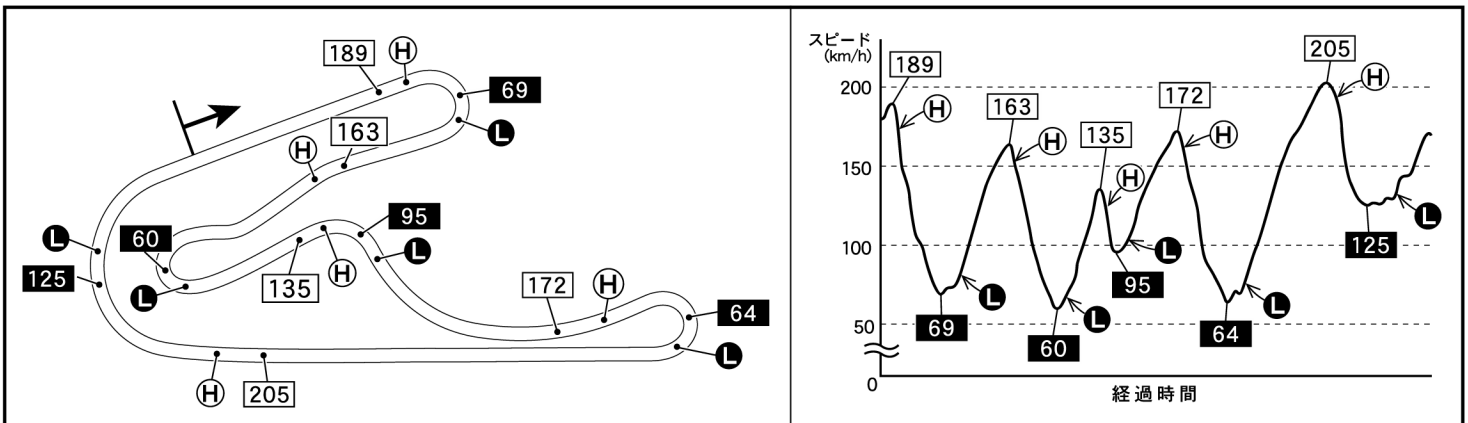
各部の名称と機能



- ① オートモード時=点灯。リアルモード時=消灯。
- ② 最高速度表示中=点灯。
- ③ 最低速度表示中=点灯。
- ④ リアルモード/オートモード切換。
- ⑤ ピークデータの表示/リセット。
- ⑥ 両面テープにて簡単取り付けでき、見やすい向きに調節可能。

最高/最低速オート表示例

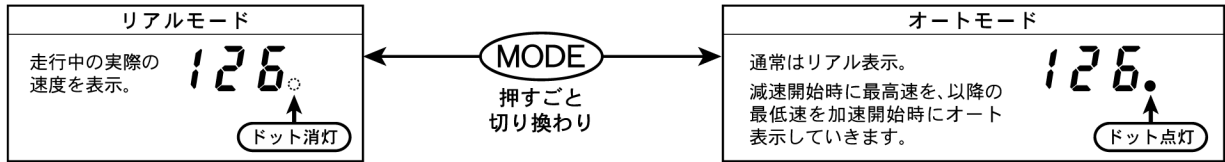
下記は、サーキット走行時の最高/最低速の表示例です。コーナー手前までの最高速を減速時に、以降コーナリング中の最低速を加速時にそれぞれ表示していきます。



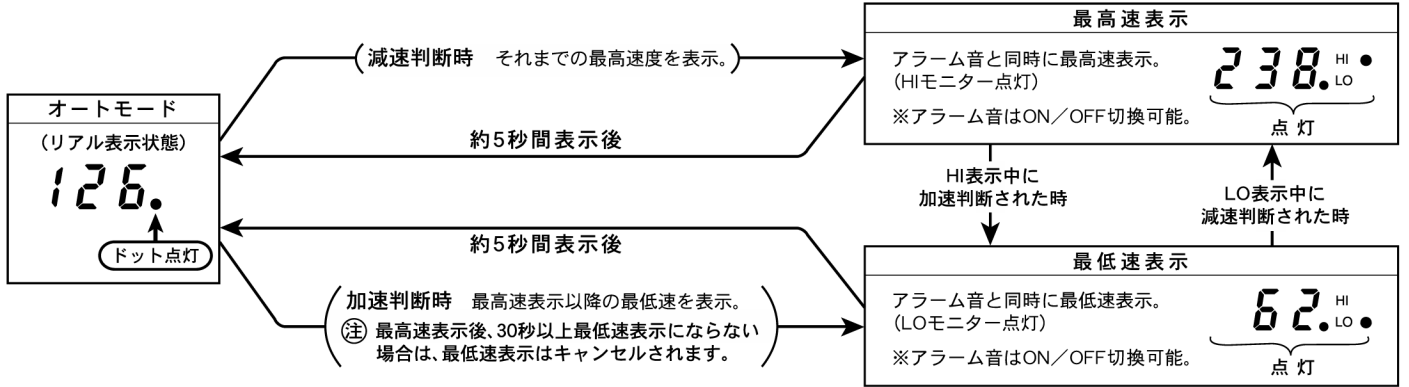
□内数字=最高速到達点と速度 (H)=最高速表示点 ■内数字=最低速到達点と速度 (L)=最低速表示点

操作方法

■リアル/オートモード



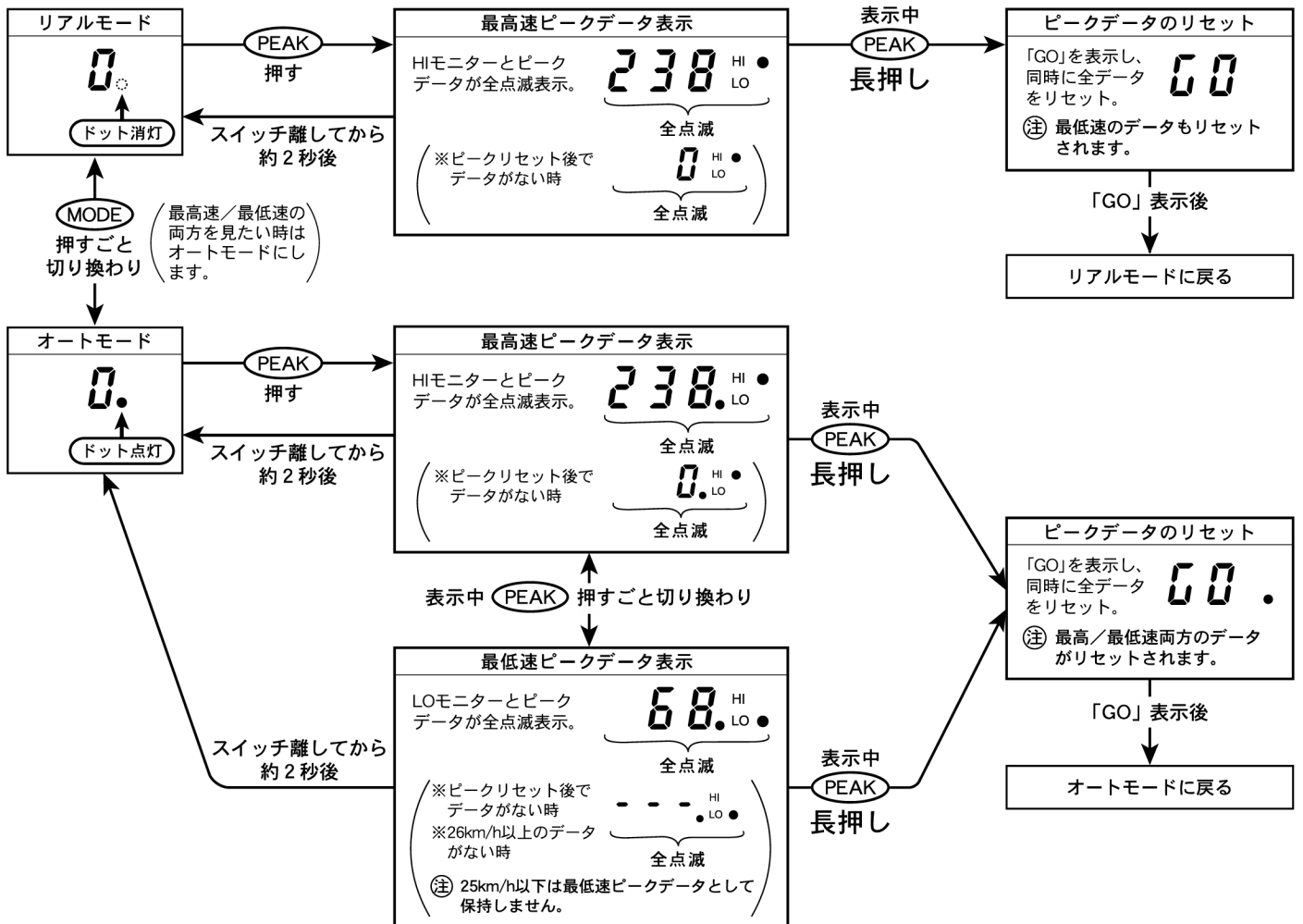
■最高/最低速オート表示



■ピークデータの表示、リセット方法

⚠ ピークデータの確認は、できるだけクルマを安全な場所へ停車させてから行って下さい。

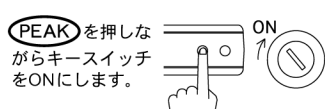
⚠ キー-OFFにすると各ピークデータはリセットされます。



■オート表示開始時のアラーム音ON/OFF切換

オート表示開始時にアラーム音が不要な場合はOFFにできます。

③ この操作でOFFにしてもスイッチ操作音は消えません。



切換状態を告知

- ・アラーム音ON時 「PIVOT ON PIVOT」
- ・アラーム音OFF時 「PIVOT OFF PIVOT」

をそれぞれスクロール表示(ON/OFFは3回点滅)します。

切換終了
スピード表示に戻る

配線接続方法

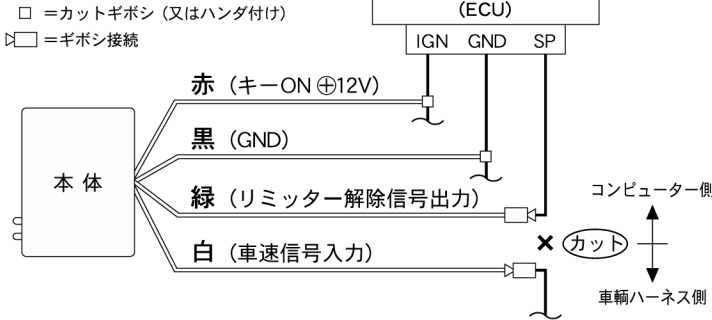
作業時の ご注意

1. 安全作業のため、作業中は必ずバッテリー⊖端子を外して下さい。(検電時は戻す)
2. ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
3. コードの引き回しは、ショートや断線の無いよう、ご注意ください。

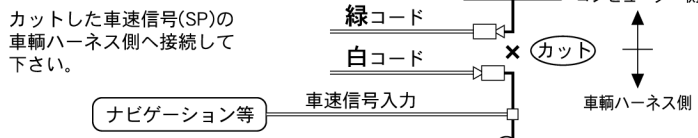
○ スピードリミッター解除をする接続

1. 車速信号(SP)は必ず「車速信号配線一覧表」の指定の配線へ接続して下さい。
2. ナビ用オプションカプラー等へこの接続をしても解除できません。
3. 取付のみ(△)となっている車種には、この接続はしないで下さい。クルマに不具合が出る場合があります。

基本配線



ナビゲーション等と一緒に取り付ける場合



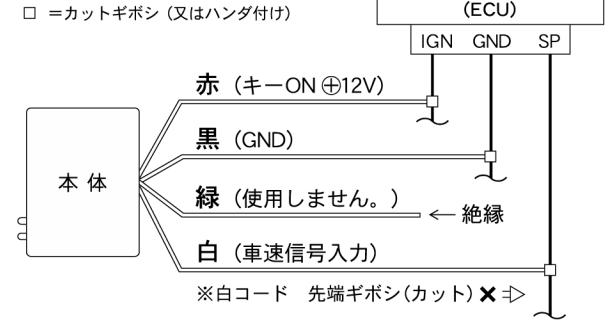
■ 配線接続一覧 各接続場所は、別紙「車速信号配線一覧表」をご参照下さい。

| コード色 | ECU図名称 | 信号の種類 | 接続方法 |
|------|--------|-------------|-----------------------|
| 赤 | IGN | キーON ⊕12V | 指定の配線へ接続。 |
| 黒 | GND | GND | 指定の配線へ接続。 |
| 緑 | SP | リミッター解除信号出力 | 指定の配線を → コンピューター側へ接続。 |
| 白 | | 車速信号入力 | 指定の配線を → 車両ハーネス側へ接続。 |

△ スピードリミッター解除をしない接続

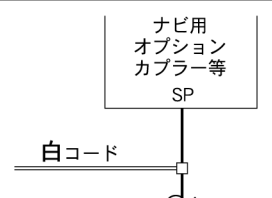
1. 「車速信号配線一覧表」に取付のみ可(△)となっているクルマは、必ずこちらの接続をして下さい。
2. リミッター解除が可能な車種であっても解除が必要な場合はこちらの接続をして下さい。

基本配線



ECU以外(オプションカプラー等)で車速信号を接続する場合

赤(IGN)と黒(GND)は、それぞれテスター等で確認して接続して下さい。



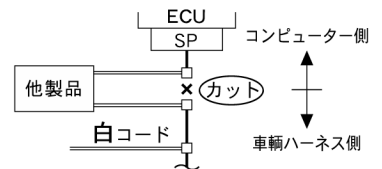
■ 配線接続一覧 各接続場所は、別紙「車速信号配線一覧表」をご参照下さい。

| コード色 | ECU図名称 | 信号の種類 | 接続方法 |
|------|--------|-----------|----------------------|
| 赤 | IGN | キーON ⊕12V | 指定の配線へ接続。 |
| 黒 | GND | GND | 指定の配線へ接続。 |
| 緑 | - | - | (使用しません。先端は絶縁して下さい。) |
| 白 | SP | 車速信号入力 | 指定の配線へ接続。 |

⚠ 他製品でスピードリミッター解除してある場合 ※必ずスピードリミッター解除をしない接続をして下さい。

1. コンピュータ本体の書き換えで解除されている場合=白コードを車速信号(SP)へ接続。
2. 車速信号をカットして接続する方法で解除されている場合=カットされている場所よりも車両ハーネス側へ白コードを接続。(右図参照)

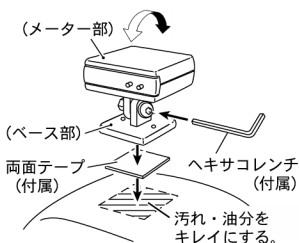
② コンピューター側へ接続すると、SML-Zの表示に不具合が発生する場合があります。



メーターの固定方法

A 付属の両面テープを使用して固定する場合

- ① ベース部のウラ面及び取り付けたい場所の汚れや油分等をキレイにします。
- ② 付属の両面テープにて確実に取り付けます。

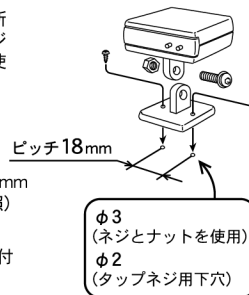


- ・貼り直しは粘着力が低下するので行わないで下さい。
- ・メーター部の角度はお好みに合わせて調整して下さい。

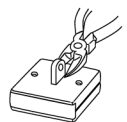
B ネジとナット又はタップネジを使用して固定する場合

※ベース部にはM3用の穴が2ヶ所開いていますので、M3のネジとナット、又はタップネジを使用しての固定が可能です。(ネジ類は別途ご用意下さい。)

- ① メーター部とベース部を一旦分解します。
- ② 取り付けたい場所にピッチ18mmで穴開けをします。(右図参照)
- ③ ベース部を取り付けます。
- ④ メーター部をベース部へ取り付け、角度を調整します。



⚠ スタンドが不要な場合



埋め込み取り付け等でスタンドが不要な場合は、ヘキサコネンチを使用してスタンドのネジを取って分解し、本体側はベンチ等で切り取って下さい。

オス・メスギボシの使い方

1. かしめるコードの先端を8mm位むいて芯線を折りたたむように太くする。
2. カバーを通しておく。
3. 圧着部にコードをセットする。
4. 内側の圧着部と芯線を確実にかしめる。
5. 外側の圧着部を被ふくの上からかしめる。

② オス・メスギボシは接続後オスカバーがメスカバーの内側へ入り込むようにしっかりネジ込んで下さい。

カットギボシの使い方

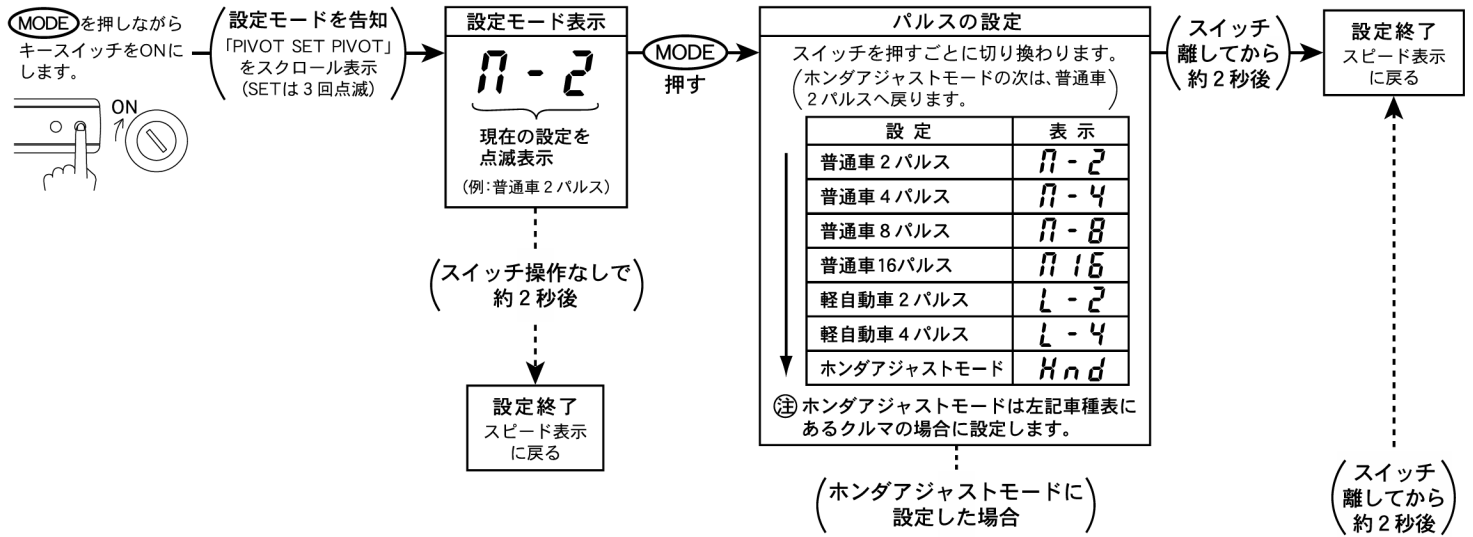
※ハンダ付けができる場合は行って下さい。

1. 接続するコードの被ふくを10mm位むく。
2. 接続したいコードの被ふく先端を10mm位むく。
3. 被ふくをむいた箇所をしっかりとめる。
4. 確実にかしめる。

※カットギボシのかしめには圧着工具をご使用下さい。工具がない場合はラジオベンチ等で折りたたむようにしっかりとしめて下さい。(右図)
 ※不確実なかしめは断線の原因となりますので、かしめた状態を今一度確かめの上、確実にビニールテープ等で絶縁して下さい。

車速パルス設定

※取り付けけたクルマに合わせ、設定します。設定するパルス数は「車速信号配線一覧表」のパルス値をご参照下さい。



■車速パルスアジャスト設定車種表

| 車名 | 年式 | 車種型式 | エンジン型式 | アジャスト設定 | 備考 |
|-------|--------|------|--------|---------|----|
| S2000 | H11.4~ | AP1 | F20C | 106 | |

⚠ 注意

- ① 上記車種へお取り付けの際は必ずアジャスト設定して下さい。
- ② スピードリミッター解除は未確認です。配線接続は、「リミッター解除をしない接続」を行って下さい。

パルスアジャスト設定

表示が数字に変わります。(点滅表示) **Hond → 106**

※左記車種表の数値を設定します。

PEAK を押しと+1ずつ加算 (・設定範囲=70~130%(1%単位))

MODE を押しと-1ずつ減算 (・初期設定=106)

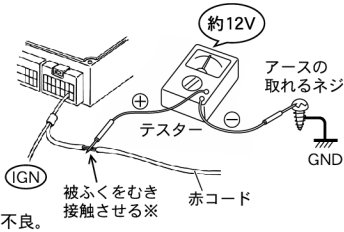
故障と思われる前に

※修理依頼なさる前に、次の項目をご確認下さい。

| 症状 | 原因 | 確認 |
|-------------------------------------|---|---|
| キーONでオープニングデモ動作しない。 | IGN配線の不良。 GNDの接続不良。 | ●赤コードの接触状態を確認する。 ●IGNに接続しているか確認する。(下記参考1参照) |
| 走行中、スピード表示が出ない。 | 車速信号入力(SP)の接続不良。 | ●黒コードの接触状態を確認する。 ●指定のアースもしくはアースの取れる場所へ接続しているか確認する。 |
| スピード表示が純正メーターと比べ極端に違う。(2倍以上や半分以下等) | 車速パルス設定の違い。 | ●「車速パルス設定」でパルスの設定を確認する。 ②マイナーチェンジ等でパルス数に変更される場合もありますので、純正メーターの表示に近い表示をするパルスで設定して下さい。 |
| スピード表示が純正メーターと比べ多少ズレる。 | 純正メーターとの精度誤差の違い。 | (純正メーターには多少の誤差がありますので本機の故障等ではありません。) 又、本機は表示を見やすくするため、減速表示を遅らせてあります。 |
| エンジンチェックランプが点灯する。 | リミッター解除信号の接続不良。 | ●緑コードの接触状態を確認する。 |
| SML-Zのスピード表示が加速中リミッター速度付近から変化しなくなる。 | 他製品でリミッター解除されている場所よりコンピューター側で白コードを接続している。 | ●他製品よりも車輻ハーネス側で白コードを接続する。 |
| 他製品のスピード表示が加速中リミッター速度付近から変化しなくなる。 | SML-Zの緑コードよりコンピューター側で他製品の車速信号線が接続されている。 | ●SML-Zの白コード側(車輻ハーネス側)で他製品の車速信号線を接続する。 |
| 最高/最低速オート表示時にアラーム音がしない。 | アラーム音切換がOFFになっている。 | ●アラーム音切換操作にてONに切り換える。 ②アラーム音OFFになっていてもスイッチ操作音は消えません。 |

(参考1 赤コード接続状態の確認方法)

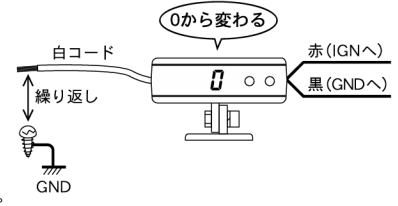
- ① テスターを用意し、DC12Vの計測できるレンジにする。
- ② 赤コードの途中の被ふくをむき、テスターの⊕端子を接触させる。
- ③ テスターの⊖端子はアースの取れるネジ(ボディアース)に接触させる。
- ④ キースイッチをONにする。



(参考2 スピード表示変化の確認方法)

- ① 赤コード・黒コードは確実に接続し、キーONにする。
- ② 白コードの先端の被ふくをむき、導線(あるいはオスギボシ金属部)をボディアースにある程度連続して接触/離すを繰り返す。

(SML-Zの表示が0から変われば正常です。車速信号を接続した配線等をもう一度お確かめ下さい。)

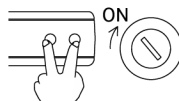


※確認後、被ふくをむいた箇所は必ず絶縁して下さい。

■デモンストレーションモードの設定

このモードは店頭やデモカー等で車速パルスがなくても、電源ONのみで最高/最低速オート表示のデモを行います。

PEAK と **MODE** を同時に押しながらキースイッチをONにします。



オープニングデモ後、デモンストレーションモードへ移行

※この操作を繰り返すことで設定の変更ができます。